

別紙様式（第3条関係）

開催記録

名 称	第4回会津美里町本郷地域教育施設等整備検討委員会
開催日時	令和5年5月25日（木）午後6時30分～午後8時30分まで
開催場所	会津美里町役場本庁舎2階 大会議室
出席者	（委員） 星委員・小関委員・横地委員・森山委員・佐藤（信）委員 冠木委員・佐藤（晴）委員・佐藤（義）委員・長嶺委員 （順不同） （校章デザイン提案者） 公立大学法人会津大学短期大学部 北本 講師 （事務局） 歌川教育長・渡部課長・大竹課長補佐・長嶺学校経営アドバイザー 榎森こども教育係長・菊地総務係長
議 題	協議 （1）校章デザインの検討 （2）スクールカラーについて （3）校歌歌詞の検討 （4）今年度のスケジュール （5）意見交換
資料の名称	「第4回会津美里町本郷地域教育施設等整備検討委員会」
記録方法	<input type="checkbox"/> 全文記録 <input checked="" type="checkbox"/> 発言者の発言内容ごとの要点記録 <input type="checkbox"/> 会議内容の要点記録
内容	
<p>1 開 会（省略）</p> <p>2 教育長あいさつ（省略）</p> <p>3 副委員長選出 ・委員の互選により本郷中学校長 小関委員を副委員長とすることに決定する。</p> <p>4 協 議（議長：佐藤委員長） （1）校章デザインの検討（提案者より説明） ※校章デザインについては、作者の意向により決定まで非公表といたします。 ABC3案とも9羽のセキレイを表し、色合いは子どもたちの意見を取り入れている。 A：デザイン</p>	

- ・地域の中で育つことを意味している。
- ・尾が長いのがセキレイの特徴である。

B：デザイン

- ・外に羽ばたいていくことをイメージした。

C：デザイン

- ・大人っぽいデザインとし、6年と3年をイメージし上下にわけて上に羽ばたくイメージした。

(委員) Bに名前をいれなかった意図はあるか。

(提案者) 背景がないもの、文字がないもの、背景があるものと区分した。

Bデザインは文字を入れずに顔となるものがあったとしてもよいのではないかという思い。

今までの校章のイメージより、子どもたちがなじみやすいデザイン化したもの。

【校章決定】 アンケート結果も踏まえ、満場一致でA案に決定となる。

(委員) 校歌とリンクさせるための、デザインの変更はあるか？

(提案者) デザイン変更は考えていない。

(委員) 学年にあわせて色をかえてもよいと感じる。

(委員) 個性を表すために色味をかえてもおもしろいと感じる。

(委員) A案のマークをそれぞれ大きさを変えることは可能か。

(提案者) Aはわかりやすいデザインを意識したものであり、成長にあわせて大きくするのは可能だが、わかりずらくなってしまう。色合いは印刷物にした場合、全てカラーではないので、現実的な仕様にあわせて3色で表したところである。

【結果】 要望を踏まえて多少のデザイン変更を検討する。

(2) スクールカラーについて (提案者より説明)

(提案者) Aのデザインであれば枠線のカラーがメインになるかと思う。アンケート結果により3色とも同数の意見であったため、3色用いたものである。

(委員) アンケート結果では3色差がないので、薄いブルーと濃いブルーどちらがよいのか。

(提案者) 見やすさ、使いやすさを考慮すると強い色味だと使用しやすいとは思いますが、用途によるものであるのでどちらがよいというものはない。

(提案者)これからデザインをすすめていく中でカラーを決めていくが、デザインで使用したカラーは子どもたちの意見を踏まえて使用したが、大人目線でこの3色は本郷をイメージしているか？

(委員)子どもたちの考えは的をついていると思われるので、イメージしている。

(提案者)できるだけ明るい色(ブルー)をメインにスクールカラーを考えたい。

(3) 校歌歌詞の検討(事務局より説明)

※校歌歌詞については、作者の意向により決定まで非公表といたします。

(委員)

- ・ 大人向けの言葉で考えると試作3、子ども向けだと試作1が適していると思う。
- ・ 地元の具体的な名称を入れることは必要だと思う。試作3の歌詞は最初は意味が分からず歌っているが成長にあわせて意味がわかってくるのもよいのではないか。
- ・ 具体的な名称が入りすぎるところもあり、試作3の歌詞はよいが、難しい言葉が入りすぎる印象があるが、学年が進むにつれて意味を理解するのがよいのではないか。
- ・ 3番までの歌詞は長いという印象がある。
- ・ 焼物や果物という歌詞が含まれているが、今後後継者の問題などあり、校歌の中だけになってしまわないか懸念される。
- ・ 試作1・2は本郷地域の歌詞というイメージであり、試作3は本郷学園の歌詞というイメージがもてる。
- ・ 学校としては校名を入れたものがよく、試作1は下学年でも歌いやすいしわかりやすい。試作2は下学年では難しいと感じる。

【校歌ベース】委員間意見も踏まえ、賛成多数で試作3に決定となる。

(委員)「微風」は「そよかぜ」とはっきりさせてもよいのかと思う。

(問題提起)

- ・ 「民芸」を「伝統のこころにつつまれて」にすること。
- ・ 2番の歌詞にあわせて「世界をひらく疾風となろう」にすること。

(委員)

- ・ 1番と2番の歌詞は発達段階にあわせてもよいのではないかと感じる。
- ・ 1番と2番の韻からすると「微風」はそよかぜでなく、「びふう」と読むのではないか。
- ・ 1番は人に灯る2番は世界に灯るという思いもよいのではないか。
- ・ 民芸というワードには違和感があり「微風」の正しい読み方を知る必要がある。

【結果】要望や問題提起を踏まえて作詞者と交渉し、作詞(案)を提案してもらいたい。

(4) 今年度のスケジュール (制服検討委員より説明)

制服は性の多様化にあわせたデザインとすることで決定し、現在3社からプレゼンしてもらい、来週から児童生徒、保護者からアンケートをよる予定である。

(5) 意見交換

※特になし

5 その他

第5回は場所を本郷生涯学習センターとし、会議開始時間を18:00から開催する。

※終了 (午後8時30分)